

平成25年 第11回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成25年11月21日(木) 午後2時00分～午後3時50分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 委員長 滝内 秀昭
4. 委員の出席 滝内 秀昭 川畑 徹朗 小林 万理子 木下 誠
5. 委員の欠席 廣山 義章
6. 傍 聴 人 なし
7. 関係者の出席
- | | | | |
|------------|-------|------------|-------|
| 教育長 | 木下 誠 | 学校改革・学事課長 | 大村 寿一 |
| 管理部長 | 谷澤 伸二 | 保健体育課長 | 早崎 潤 |
| 学校教育部長 | 太田 洋子 | 学校給食センター所長 | 松浦 洋一 |
| 生涯学習部長 | 田中 裕之 | スポーツ振興課長 | 谷 泰史 |
| 教育長付参事 | 村上 雄一 | 公民館長 | 池田 真美 |
| 教育長付参事 | 大西 俊己 | 図書館長 | 田中 茂 |
| 学校教育室長 | 峰松 誠治 | 博物館長 | 亀田 浩 |
| 総合教育センター所長 | 江原 礼子 | 人権教育担当主幹 | 松山 和久 |
| 学校教育部副参事 | 村上 順一 | 中学校給食推進班主幹 | 田中 康之 |
| 生涯学習部副参事 | 小長谷正治 | 生涯学習部主幹 | 善入美津治 |
| 人権教育室長 | 大野 浩史 | 少年愛護センター所長 | 倉島 正佳 |
| 職員課長 | 升井 竜雄 | 教育総務課長 | 中井 秀典 |
| 施設課長 | 田原 安治 | 教育総務課副主幹 | 乾 義昭 |
| 教育施策企画担当主幹 | 花光 潤一 | 教育総務課 | 山本 逸美 |
| 学校指導課長 | 春名 潤一 | | |

8. 議 事

(1) 開会宣言 滝内委員長(午後2時00分)

(2) 日程報告 滝内委員長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員これを了承。

- | | | |
|-----|---|-----------|
| 日程第 | 1 | 前回会議録の承認 |
| 日程第 | 2 | 教育長報告 |
| 日程第 | 3 | 報告第8号の承認 |
| 日程第 | 4 | 議案第54号の審議 |
| 日程第 | 5 | 議案第55号の審議 |
| 日程第 | 6 | 議案第56号の審議 |

滝内委員長から「議案第54号、議案第55号、議案第56号は人事案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定に基

づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

議案第54号、議案第55号、議案第56号は非公開の秘密会となる。

(3) 前回会議録の承認（日程第1）

平成25年第10回伊丹市教育委員会定例会（平成25年10月24日〈木〉開催）の会議録については、修正のうえ、全委員一致でこれを了承。

川畑委員 私の発言について2点修正。6ページ、私の発言の下から5行目に「子どもを合わせて」とあるが、「子ども」を削除してもらいたい。「分布のどこに合わせて」という意味で言ったので、誤解を招く。それと8ページ「今日、言っただけで」を学校訪問に「行った」という字に修正。

中井課長 事務局より2点修正。15ページ、田中部長の発言の上から3行目に「MNW」とあるが正しくは「MWN」になります。同じページの小林委員の発言にある「MNW」も同じく「MWN」に訂正させていただきます。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育長の指示により、管理部長より「11月分人事報告」・「10月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「10月分寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の、教育長付参事兼中学校給食推進班長より中学校給食推進班の、「10月分行事実施報告」「12月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

川畑委員 小学生の問題行動が多いと報告があったが、もう少し説明をお願いします。

太田部長 まず、不登校について、昨年の10月は不登校の生徒が10人であったが今年度は15人となっている。不登校は、理由の如何に係らず年間で30日以上欠席している児童生徒を意味する長期欠席者に含まれるが、小学校ではその長期欠席者数が、昨年の22人から今年は39人になっている。中学校の長期欠席者は、160人から162人に増で、それほど大きく変わっているわけではないが、小学校は非常に増えている。問題行動については、万引きが中学校では減少しているが、小学校では昨年度の31件から今年度は41件になっている。

川畑委員 その背景はわかりますか。

太田部長 背景は調べているところだが、万引きをしている場所はコンビニが多い。コンビニが非常に増え、私たちが思っている以上に気軽に行っているとい

うことや、防犯カメラはたくさんついているが店員が非常に少ないという背景もあるかと思う。万引きした商品はお菓子類が多いが、中には食べていないのか、食事的な物もあったと聞いている。どこの学校がすごく多いというわけではないので、主な原因がつかみにくい、傾向として増えており、サポートセンターの所長からも、伊丹市だけではなく、小学生が増えている傾向があるという話も聞いている。

木下教育長

同一人物なのか不特定多数なのか。

太田部長

グループ化しているケースもあり、ある小学校ではグループ化して何回も繰り返したということもあった。その小学校では、中心になる児童が転校してきたので減ってきたが、また他の学校でグループがあったり、本当に小さい子が万引きしているケースもあったりするのでそれぞれ違う。

木下教育長

視点を変えるが、小学校の長期欠席者は22名から39名と約2倍になっているが考えられる要因は。

太田部長

学校によって違う。小学校は不登校ではなく長期欠席で見るが、学校別で全て出しており、一番多い学校が6名で1校、次に5名が1校、4名が4校あり、後は2名、1名、0名。0名の学校は4校。

木下教育長

学力テストに自尊感情の項目があったが、それとの相関は。

太田部長

相関で調べたというわけではないが、どちらかという学力的にしんどい学校が、休む傾向にある等、関係はあるのではないかと考えられる。子どもたちの自尊感情等の数値は、次回協議会において学力調査のことで報告させていただくが、傾向として、一定の関係性はあるのではないかと捉えられる。

木下教育長

6ページと11ページに関して、平成27年度から始まる高等学校の新通学区域に係る質問。保護者説明会が8中学校で終わり、これから教職員の説明会に入ろうとしているが、保護者説明会の中でどのような質問が出て、どのような回答をしているか。先日、「教育委員と話そう」で、保護者から、学校の特色はわかるが、自分の子どもがその学校を受けた時に合格するか水準がわからないという質問があり、なるほどと思った。同様の質問が出ていたのか、それに対してどのような検討をしているのか。

太田部長

ほとんどの学校では質問は出ていないが、1校か2校は非常に多かったと聞いている。具体的にいうと南中学校が非常に多く、内容は教育長が仰ったように、学校の内容もわかるし、ある程度の仕組みもわかるが、実際に自分の子どもが入れるのか、それに関する情報がわかるのかという質問だった。市教委が行っている説明会なので、直接的な質問はおそらく学校にしており、教育委員会に手を上げて質問される方はあまりいなかったが、最初の方に行った南中学校では出ていたと聞いている。それに対する回答

は、そのような不安もあるので、これから保護者の方々の声を聞きながら考えていきますということしかできていない。県教育委員会に聞いても実際に出せるはずもなく、そもそもこれまでも複数志願の中でどこの学校に行けるか行けないかということ誰かが出しているわけではなく、学校の進路指導の中で過去のデータやその学校の卒業生の動向等からお答えしているので、教育委員会の動きとしてできることはあまり変わらないと思うが、やはり1年目については不安が大きいと思う。

明日も第2学区の校長、各高等学校、中学校の校長会の代表、教育委員会の代表が集まり、第2学区の選抜制度検討委員会が開催されるが、これを何回か行い、不安等について皆でざっくばらんに出し合ったり、また、阪神間の校長会には、代表校長のレベルで行うものと進路担当の校長が集まるものがあるが、その中でそれぞれが情報交換をしながらどうすればいいか調整したりしている段階にある。それらの様子を見ながらになるが、非常に難しい問題で、私たちも不安を聞きながら、どうすればいいかということ校長会と相談している。

木下教育長

例えば、学区が拡大されれば、今までなら行ける学校が伊丹学区に限られていたが、尼崎市や西宮市等いろいろなところに行けるようになる。だが、今まで行ったことのない学校に行こう思ってもデータがない。学校内で判断しようとするのは無理だと思う。多分このような質問をされる保護者の背景には塾の存在があると思う。塾というのは、例えば大学入試を受けるとき、それぞれの大学の偏差値を把握しており、模擬テストの偏差値を見るとだいたい合否わかるようにしている。もしかすると、塾はデータを持っており、遥かに進んでいるのではないかという思いがあるのではないか。学校は遅れている、親切ではないと思われる要因になるのではないかと思うが、それについての対応は。

太田部長

その辺りも含め、学校で阪神間の各市が集まりながら、いろいろなデータの収集をしていかれると思う。従来の伊丹学区でも、伊丹学区の中で何か共通のものがあつたわけではなく、市内の担当者会はやりながら、それぞれの学校でやっているという状況なので、そんなに大きく変わった動きはしにくい。

木下教育長

だが、保護者は前述のように思わないか。

小林委員

例えば、伊丹は全国でだいたいこれくらいのレベルということは、学校指導の先生方も把握されていると思う。だが実際に横と比べたときに、伊丹ではこの学校を受けたら受かると思っているが、他市の成績が予想より良ければ難しいと思う。他市が情報を提供してくれるかわからないが、本来なら横の情報交換もして隣の市の方がレベル高い等わかれば、多少なり

とも塾に頼らなくても親の指針が出せるのではないか。判断を委ねてもいいものか最初だから迷ってしまう。

太田部長 例えば、入試の500点のうち250点は学校の成績、残りの250点が当日のテストになっているため、塾でも、通知表を出しているのでおおよそはわかるのかもしれないが、実際のところはわからない部分もあり、さらに、入試では得点の幅があり、絶対ということはないので言いにくい部分もあると思う。私たちも1年目に関しては、非常に情報収集をしないといけないので、今、阪神間で集まりながら情報交換をしている。

木下教育長 特に中学2年生の保護者は神経質になっていると思う。無難に今までの伊丹学区の中から選択するようになるかもしれないが、そういう制度ができたから挑戦してみようという人がいるのに、検討している、情報集めている、10年すればだいたいわかるというのは問題。何をすればいいのかということ的主体的に親の立場に立って考えなければならない。そうしなければ、信頼性等について塾の方が親切ということになるかもしれないので、あまり時間をかけずに対応してほしい。

滝内委員長 これは一番の関心事になるが、データがない中で生徒と保護者が相談に行くのは、当然学校だと思う。現在、そこにいる生徒はどこからきているかだけでも一覧表を作って配れるような工夫や、翌年度は、より傾向がはっきりわかると思うが、初年度には何らかの進路の資料作りをしてもらいたい。また、初年度は進路指導も、私立との併願を薦めると思うので家庭の出費の問題も出てくる。単純に併願をしてくださいではなく、何らかの説明が出来るような背景を整えてもらおうと、中学2年生の保護者もありがたいと思う。準備をよろしく願いいたします。

太田部長 校長会でも、可能であれば2年の最後の方に、模擬でもいいので進路希望調査を取って、阪神間の動向を掴もう等、いろんなアイデアを考えている。どれが実現するのかわからないが、それぞれの学校が本当に困っているので知恵を出しながら対応策を考えていると思う。

小林委員 確かに早く情報がほしいという声をよく聞くので、3年生になる前に今、どういう動きなのかだけでもいいので順次伝えてもらえればと思う。よろしく願いいたします。

(5) 報告第8号の承認（日程第3）

滝内委員長より「報告第8号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」のうち「専決第8号 平成25年度第3回教育関係費補正予算要求の申出について」を議題とする旨の発議がなされ、教育長から、「平成25年度第3回教育関係費補正予算要求を市長に申し出ることについて緊急を要した

ので専決処分により処理したものですとの説明がなされ、管理部長より、補足説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「報告第8号」「専決第8号」を原案のとおり承認。

質疑応答

滝内委員長 猪名川の河川敷の復旧工事ということ、8-3ページで説明してもらった。1級河川なので国からの工事費になると思うが、復旧ということは改善ではなく全く同じ状態に戻すだけということか。

田中部長 復旧ということなので被害前に戻すということ。

木下教育長 参考までに工期は。いつから使えるのか。

田中部長 12月17日に国の災害査定を受けることになっており、その査定により国の受け持ちや、市の単独工事などいろいろな振り分けが行われるので、まだ工事の内容が変わる状態。その災害査定を受けた後に、工事の入札手続きに入っていく。工事費用については12月の市議会に補正予算で上げる。入札までの準備が40日かかるので、2月の中旬に入札が出来るのではないかと思う。そうすると2月中の着工となり、工期は前回の16年度と同じ3ヶ月程度になる見込で、3、4、5月末くらいまで工事を行い、6月からグラウンドが使えるというスケジュールを現在持っている。このスケジュールは川西市と同じスケジュールになっていて、川西市と伊丹市はグラウンドが隣同士なので、6月からどちらも合わせて使えるようになる予定です。

(8) 議案第54号、第55号、56号の審議（日程第6、日程第7、日程第8）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第54号 平成26年度伊丹市公立学校・幼稚園教職員人事異動方針の策定について」、「議案第55号 伊丹市立博物館協議会委員の委嘱について」及び「議案第56号 平成25年度途中の管理職人事異動について」を可決。

(9) 閉会宣言

滝内委員長 （午後3時50分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育委員会委員長

滝内 秀昭

伊丹市教育長

木下 誠